

仙台空港の活性化と東北観光振興



2016年3月2日
仙台国際空港株式会社

本日お話しさせて頂く内容

1. 仙台空港の新たな取り組み

2. 旅客数を増やすために
～「プライマリー・グローバル・ゲートウェイ」～

3. たくさんの人に東北を訪れて頂くために

4. 具体的な施策案

1. 仙台空港の新たな取り組み

1. 路線を増やし、航空需要を増やす



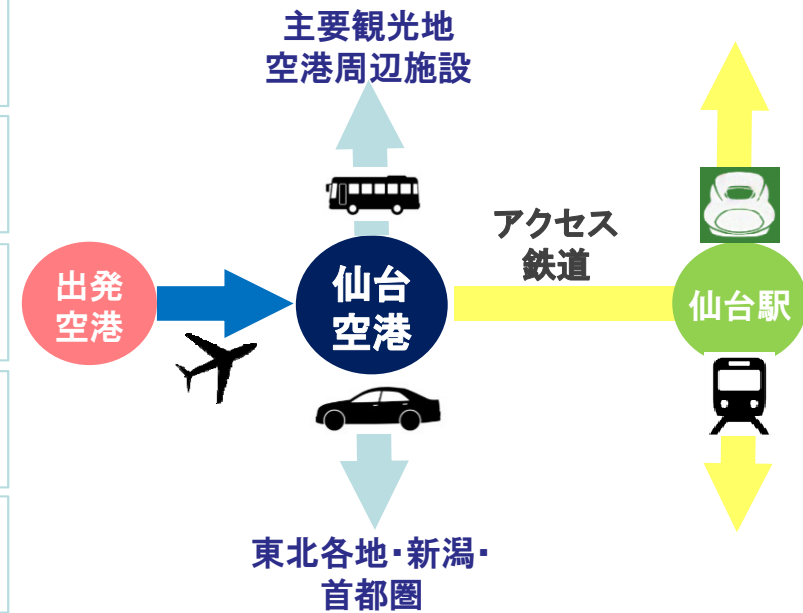
地域アライアンスによる
誘致活動

マルチモーダルハブ

就航路線PR活動

地域一体となった
航空利用促進

東北ブランドの
認知度向上



2. 空港活性化と設備投資



旅客増加に先立つ
キャパシティの増強

エアライン・利用者負担を
考慮した施設整備

東北ブランドを発信する
商業店舗の拡充

安心・快適に繋がる
サービス整備

3. 高いサステナビリティの実現

安全保安の最優先

安全管理体制の一元化

環境負荷低減等の地域との共生

持続的な経営

2. 旅客数を増やすために ～「プライマリー・グローバル・ゲートウェイ」～

就航ネットワークの拡充

【国際線】 4時間圏の直行便拡充

【国内線】 FSC機材大型化、LCC路線拡充

柔軟な料金施策を柱とするエアライン支援

「プライマリー・グローバル・ゲートウェイ」 の実現

東北観光の振興

- 【発信力強化】 風評被害払拭も含めた積極的な情報発信
- 【地域連携】 起点機能としての強い自覚とブランディングへの協働
- 【ハブ機能】 新たな商品開発や販促連携の支援・促進

マルチモーダルハブ

- 「アクセス鉄道」を中心とした利便性向上
- 需要増に合わせた直行バス等の導入
- 駐車場やレンタカーの使い勝手向上

3. たくさんの人に東北を訪れて頂くために

具体的かつ実効性のある取り組みとして

「東北を代表する観光資源の育成」

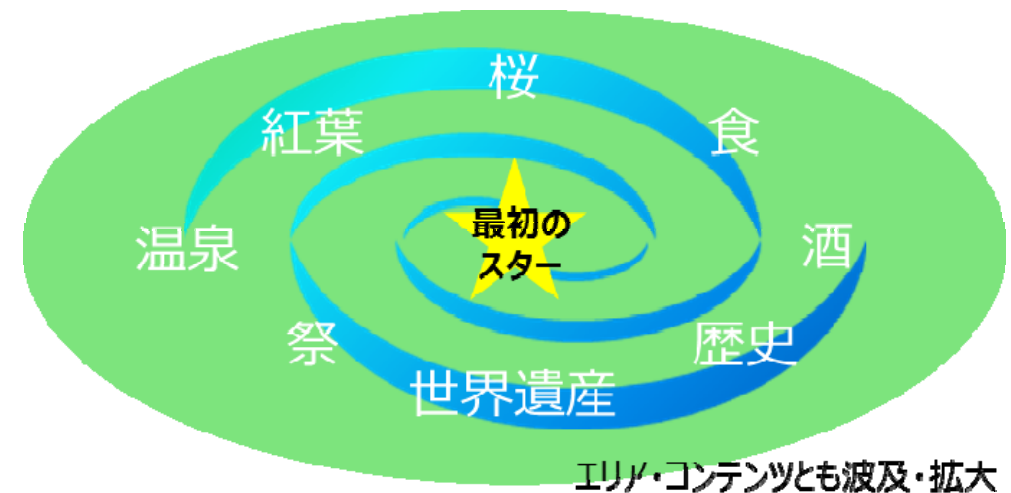
を提案したい

海外では、「スター」しか認知されない
東北全体でバラバラに様々なコンテンツを
売り出していくよりは、

「スターの育成」

⇒ 「東北全体への波及・拡大」*

が、エリア全体の振興にとっても有効と考える



東北観光振興
においては、

- ✓ 風評被害払拭を含む**認知の向上**
- ✓ **交通アクセス**（空路・陸路とも）の改善
- ✓ **価格競争力**の向上

の3つが**重要課題**
という認識のもと、

これらに対し、対象を定め、有効な打ち手を集中的に処方することで、
まずは最初の「スター」（成功モデル）を当地に生みだしたい

3. たくさんの人に東北を訪れて頂くために ～「スノーブランドの確立」

実現への3つの主要な課題に**先行投資**することで、「正の循環」を生み出せると思料

東北を代表する観光資源の育成

価格競争力獲得への支援

- ✓ ツアーもしくは就航便への補助制度
- ✓ 就航会社との連携・協力体制

- 東北観光の「スター」一番手の擁立
- 「アジアを代表するスノーリゾート」ブランド
- 需要が急拡大する中国 & 台湾に照準

集中的なプロモーション

- ✓ バズ（口コミ）・マーケティング
- ✓ メディア・プロモーション
- ✓ 国レベルでの風評被害払拭
キャンペーン

交通アクセス確保

- ✓ 起点（仙台空港）から
目的地への直行便確保
- ✓ 時限的な補助対応の検討

(補足) 東北全体への波及・拡大について

「東北全体への波及・拡大」は、以下の通り実現可能と考える

東北全体のスノーリゾート
・雪体験への波及

スノーリゾート
での体験による
他エリアへの
興味拡大



祭

スノーリゾート
での紹介や
東北全体への
関心拡大
による他の
季節における
再訪意欲

事実

- 東北訪日外国人の2~3割に再訪意欲 (*1)
- 課題さえ解決すれば積極的に売り込める (*2)

取組

- 東北全体での「スター」育成ローテーション推進
- 訪問客に東北全体の情報提供 (口コミ効果も)

*1：日本政策投資銀行資料より *2：中国大手旅行代理店インタビューより



Primary Global Gateway

仙台国際空港株式会社